

春日部市立桜川小学校

特別支援教育

教科別の指導「算数」

題材名 楽しいクリスマスパーティーをしよう
「おもさ〜くらべたり、はかったり〜」



五感を使い、実感を伴う理解を大切に



本時の主課題
「形を変えても重さは変わらない」



算数のウォーミングアップ
マス計算で集中力を高める

参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

- 今年から特別支援学級の担任になったが、なかなか特別支援学級の授業を参観する機会が少ないため、大変勉強になった。
- 特別支援教育の授業を見る機会は他教科に比べて少ない。児童の実態を踏まえた独自の教育課程を組んでいる先生の授業を参観し、参考にしたい。
- 通常学級の担任をしているが、特別な支援の必要な児童が多いので、本日の授業の授業づくりや声かけが大変参考になった。
- 学習規律をしっかりとさせることが、様々な発達特性をもつ児童の中でも、一斉授業が可能だとわかった。
- 生活単元学習を柱として、そこにつながる学習を組立てるとい授業計画の仕方を学んだ。各教科等との関連性のある授業計画を立てていきたい。
- 授業者の指導の意図「生活と密着させる」「五感を使う」が、授業の様々な場面で具現化されていた。改めて、明確な意図をもち、見通しをもって授業を行うことの大切さを感じた。
- 学習規律、教室環境、声かけ等、紙面ではわからないことをたくさん勉強させていただいた。



「かたむく」「つりあう」を確認



同じ重さ
かな？
↓
比べてみよう



見えない
“重さ”を
予想して
測る

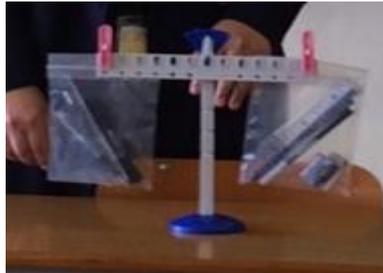


形を変えても、
重さは同じ？

ちぎったり、
ほそくしたり、
なみなみにした
りして、測ってみ
よう



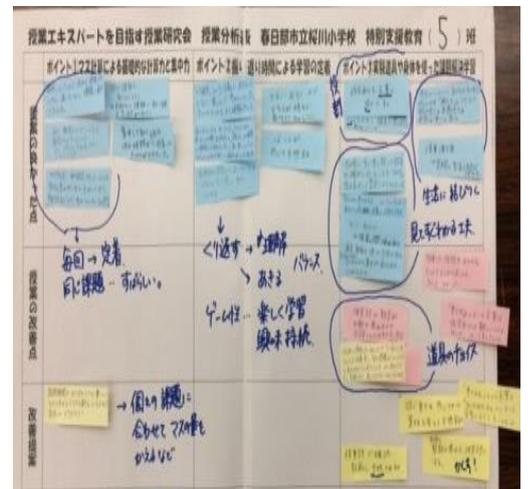
- 身体を使い、道具を操作した授業は、児童にとって意欲や集中力をより高めることが、実証された授業であった。
- 日頃切り替えの苦手な児童に苦戦しているので、このように、余計なものを排除し、集中させることの大切さを感じた。
- 普段の授業では、言葉や数を指導するばかりだったので、五感を感じさせる授業の大切さがわかった。
- 常に児童に予想し、考えさせ、それを測定して答えを求めていく授業の流れが、参考になった。
- 目で見えてわかる教材、興味を持てるものを使うことで、実生活と結び付けることができた。
- 形や置き方では重さは変わらないという不思議さ。今まで思っていた概念が崩され、児童にとってこの授業は面白かったと思う。児童が重さの学習にぐんぐん引き込まれていく様子がよくわかった。自分のクラスでもぜひ取組んでみたい。
- たくさんの先生達と協議し、日頃どのように取組んでいるか、どのような手立てがよいのかを話合えてよかった。
- 協議では、互いの考えを交換でき、そこで話すことで、さらに新たな考えが生まれた。協議時間が短く感じられた。



教材教具：直接比較し、重さを測る



ワークショップ型研究協議
様々な見方や考え方を出し合う



授業分析表